

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2023.12

vol.  
**67**

## 巻頭特集

# 富士山エコレンジャーとともに学ぶ！ 「1日子どもエコレンジャー体験会」 レポート



富士山エコレンジャーとともに学ぶ！「1日子どもエコレンジャー体験会」レポート

富士山世界文化遺産登録10周年を契機とした取組 令和5年度富士山ごみ減量大作戦

令和5年度ふじさんネットワーク総会

令和5年度の外来植物撲滅大作戦

富士山の恵みの水 柿田川自然観察会

Welcome



Join Us

# 「ふじさんネットワーク」 会員募集中！

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

- 入会費 年会費 無料** **特典**
- 「ふじさんネットワーク」の冊子が届きます
  - イベント情報をいち早く入手できます
  - シンボルマークが使えます

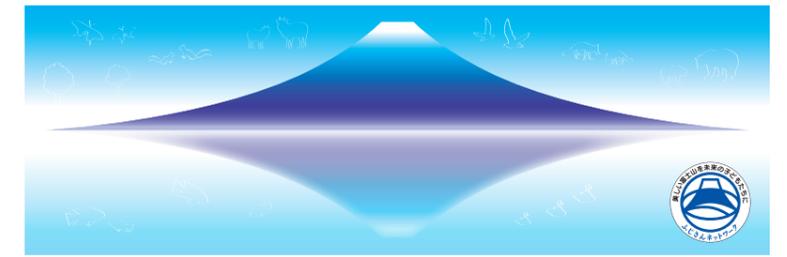


「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

寄付していただいた方に  
**オリジナル記念品**  
を差し上げています

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、記念品を差し上げています。



**NEW** **新寄付記念品 手ぬぐい「鏡富士」**  
■サイズ:(約)35cm×90cm ■綿100% ■1口:1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。  
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で  
文字はゴールドのピンバッジです。

### SAVE Mt.FUJI

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



### 花シリーズ

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上



### 富士山の雲シリーズ

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上



直接受取希望：ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。

寄付をいただいて、同時に記念品をお渡します。(TEL 054-221-3498)

送付希望：QRコードを読み込み、HPの寄付専用申込フォームにて申請してください。もしくは、郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数  
振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができれば、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2023年12月 vol.67

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

**ふじさんネットワーク**

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
- (特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 566団体・個人(令和5年11月15日現在)

※本書の作成には、マックスパリュ東海株式会社からの寄付金が使われています。

美しい富士山を、未来の子どもたちに  
ふじさんネットワーク  
2023.12  
vol. 67

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2023.12

vol.

67

## CONTENTS

- 03 [巻頭特集]  
富士山エコレンジャーとともに学ぶ!  
「1日子どもエコレンジャー体験会」レポート  
(令和5年7月29日実施)
- 05 富士山世界文化遺産登録10周年を契機とした取組
- 06 令和5年度ふじさんネットワーク総会  
富士山の恵みの水 柿田川自然観察会
- 07 令和5年度富士山ごみ減量大作戦  
令和5年度の外来植物撲滅大作戦
- 08 「ふじさんネットワーク」  
会員募集中!

表紙の写真



秋の朝霧高原

出典『PIXTA』

## 巻頭特集



(令和5年7月29日実施)

富士山のフィールドマナーについて説明を受ける参加者のみなさん

# 富士山エコレンジャーとともに学ぶ! 「1日子どもエコレンジャー体験会」レポート

## 登山者に 知っていただきたい 3つの心得

まず、本日の体験会を開催するにあたって主催者の富士山エコレンジャーから留意事項(安全に、無理をしない。こまめに休憩をする際には水分補給をするように)の伝達がありました。実施当日は曇もありましたが、西臼塚公園でも気温は約30℃近くになっていて熱中症対策は欠かせませんでした。そして

富士山エコレンジャーは、ふじさんネットワーク正会員団体に所属している有志からなるボランティア活動団体で、国内外から多数訪れる富士山の登山者のみなさんに、ごみを捨てない、整備した歩道を外れて歩くことによる貴重な植生の踏み荒らしをしない等の登山マナーの遵守を啓発しています。また、富士山エコレンジャーの活動を補佐する立場で、富士山エコサポーターも同じ志を持って活動しています。今回は富士山の貴重な自然環境を目で、鼻で、耳で、そして触って体験する「1日子どもエコレンジャー体験会」の様子をレポートいたします。

山に入るにあたっての3つの心得について説明がありました。

- 1 歩道を外れない  
(ロープなどで制限をしている中を歩き、道を外れないこと)
- 2 動植物等生きものを採集しない、持ち帰らない  
(これからも美しい富士山を守る為に自然環境の保全と野生動植物の保護をする)
- 3 各自のゴミは必ず持ち帰る

それぞれ山に入る際の基本的なマナーとのことでしたが、大切なのは「なぜ、そうなのか?」を考えたから基本的なマナーを理解することでした。また自然観察では「見たり、聞いたり、触ったり、味わったり、人間の五感で感じる」ことが重要との説明もあり、参加者のみなさんも静かに耳を傾けていました。

その後、参加者のみなさんから簡単な自己紹介をしてもらい、さっそく活動体験に入っていきます。

## 午前中は西臼塚公園での活動体験

西臼塚駐車場から遊歩道に入りますがまずは簡単なゲームをしました。



自然観察での観察眼は重要なこと

「自然界に存在しないものを探そう」と山道の脇に隠れている「人工的なもの」を参加者のみなさんで探して主催者に報告するゲームです。急に自然の中に入るとなかなか目が慣れず、どこも同じような景色に見えます。しかし時間が経つにつれて「ん?」あそこには何かある...と、ふと気づくことがあるのです。参加者のみなさんは静かになって周囲を見渡し、必死に自然界に無いもの(小さな動物や植物のオブジェ)を探しました。目を凝らして見ていると、見えていなかったものが見えてくる。観察



ヒメシャラの木はとっても冷たくて気持ちいい

## 富士山憲章 (行動規範)

- 1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
- 1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県



カエデ広場で全員で記念撮影



富士山エコレンジャーからの説明を聞いている参加者のみなさん



森の生態系を守るための啓発が行われています



最後に体験の感想を述べあう

を通して自然を見る目を養うことは自然観察では大変重要なことだとわかりました。

しばらく山道を登り、途中休憩を挟みながら所々で植物や木の観察をしてからカエデ広場まで登って

いきました。富士山はフィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北米プレートの3つが合わさってできています。1万年程前の噴火によって

非常に綺麗な成層火山の形になっていると富士山エコレンジャーからの説明がありました。諸説ありますが、富士山には、側火山が70ヶ所以上存在するそうです。日本の火山の中では多いとのことでしたが、

入っていました。

西臼塚公園での活動体験終了後、富士山エコレンジャーと参加者のみなさんでまなびの森へ移動しました。

### 午後は 富士山まなびの森へ 移動し一日体験が続く

昼食を食べた後、早速まなびの森へ入ります。まずは靴底を種子落としマットで払ってから森に入ります。靴底等に外来物の

種子がついたまま森に入り落としてしまうと、生態系に影響を与えてしまうことがあるからです。そうしたことも富士山の生



森の生態系を守るため靴底の種子を落としから出発

態系を守っていただく大切な行動といえます。

まなびの森では、天然林と人工林の違いや、倒木や落葉等が分解されて土壌が作られているという説明がありました。

特に印象に残ったのは、1cmの土壌ができるのに100年かかるということ。その場所でも様々な微生物や動物が生き、それらが土に還ると植物の養分になり、更に物質循環が繰り返されます。これが長く続くことで土壌が深くなっていきます。

土壌に空隙が多いと保水力が高くなり、雨が降った時に水が浸透しやすくなります。植物が生育することで土砂移動が抑制されて、動物が生きる環境が維持されると、生物が相互に影響を及ぼしながら森林が維持されています。

途中、休憩を挟んで植物樹木観察、鹿の採食圧の問題について

説明もありました。鹿が好んで食べる草とそうでない草の種類について詳しく教えてもらい、鹿の食圧の違いや被害状況等もわかりました。

最後に今回のエコレンジャー一日体験で学んだことを参加者のみなさんに発表をしていただきました。「いろいろな木々を見られて良かった。セミの抜け殻を沢山発見した。」こういう体験を多くの方に欲しい。今日の活動体験で木のことを愛おしく感じている。今後、他の方にも話して参加を呼び掛けたい。登山をよくしていて山歩きが好きだが、木や植物をゆつくり見る機会はなかった。自然の大切さを広める活動は大切」と、それぞれが肌で感じた。

最後に今回のエコレンジャー一日体験で学んだことを参加者のみなさんに発表をしていただきました。「いろいろな木々を見られて良かった。セミの抜け殻を沢山発見した。」こういう体験を多くの方に欲しい。今日の活動体験で木のことを愛おしく感じている。今後、他の方にも話して参加を呼び掛けたい。登山をよくしていて山歩きが好きだが、木や植物をゆつくり見る機会はなかった。自然の大切さを広める活動は大切」と、それぞれが肌で感じた。



倒木が土壌を造っている



自然を人間の五感で感じることが大切です

取った感想を参加者のみなさんと共有しました。

今後も富士山エコレンジャー・エコサポーターの活動を多くの人に体験していただいで、この美しい富士山と富士山の素晴らしい自然環境を未来まで

守っていく人がひとりでも多く増えていくようにしたいと感じました。



## 富士山世界文化遺産 登録10周年を契機とした取組



10周年記念動画はこちら!

2023年6月22日、富士山が世界文化遺産への登録が決定してから10年の節目の日を迎えました。本年は年間を通じて、改めて富士山への理解と関心を深め、その魅力や価値を国内外に発信していきます。



### 富士山世界文化遺産 登録10周年記念式典

当日は、東京国際フォーラムにおいて静岡県、山梨県、富士山世界文化遺産協議会の共催で記念式典を開催しました。式典には、国会議員や静岡・山梨両県関係者、一般公募客約350人が出席し、登録10周年をお祝いしました。

静岡・山梨県の両県知事が、「富士山の普遍的価値を守り伝えながら地域の発展を目指す」との富士山世界文化遺産登録10周年共同宣言に署名しました。

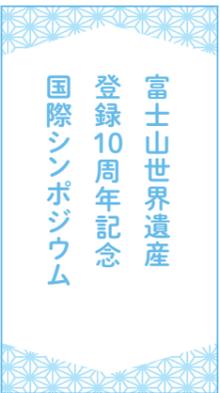
また、会場では、登録10周年を記念して作成した7分間の記念動画を公開すると



登録10周年記念式典の様子

ともに、基調講演や専門家を招いてのパネルディスカッションを行いました。

## NEWS × COLUMN × REPORT



### 富士山世界遺産 登録10周年記念 国際シンポジウム

また、7月1日から2日にかけて、富士市文化会館ロゼシアターにおいて、静岡県富士山世界遺産センターの主催で、「世界の聖なる山と富士山」と題して国際シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、富士山のほか、世界遺産に登録されているイタリア、ニュージーランド及び中国の聖なる山々について、研究者等による講演とパネルディスカッションを行いました。



国際シンポジウムの様子



### 三霊山学術フォーラム 学生連携事業

11月23日には、日本三霊山と呼ばれる立山・白山・富士山の信仰について、歴史・伝承をひも解く「三霊山学術フォーラム」を開催しました。

これを契機とし、富山県・石川県・静岡県が連携し、三霊山研究を深化させていきます。

また、大学生等が主体となった発信事業を展開し、世界遺産富士山の顕著な普遍的価値の若年層への啓発を促進していきます。



多くの学生に協力いただきました



## 令和5年度 ふじさんネットワーク総会

令和5年度のふじさんネットワーク総会が、6月3日(土)に沼津市のプラサヴェルデにおいて開催されました。

6月2日から3日にかけての大雨による公共交通機関の停止や道路の通行止め等により、会場に來られなかった方もいらっしゃったため、出席者が少ない状態で開催することとなりました。当日御出席いただいた皆様、会場まで向かって到達できなかった皆様には、多大な御心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

事務局としては、荒天で会場までのアクセスができなくなることで想定して開催の可否を検討するよう準備段階の対応を改善し、御出席いただく皆様の御心配を減らせるよう努めてまいります。

総会は、正会員256団体のうち、出席12団体、委任状提出127団体の計139団体の参加により有効に成立し、令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案等すべての議案が承認されました。



総会の様子



活動発表の様子

総会終了後の活動発表は、2者にお願ひしていましたが、静岡県富士山世界遺産課の話題提供は、公共交通機関の停止により残念ながら中止となりました。

柿田川・東富士の地下水を守る連絡会には、日本水大賞の受賞に伴い、漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)、中嶋氏、水野氏に発表していただきました。

連絡会は、湧水の涵養を図るため、柿田川湧水の水源涵養地である富士山東南麓での森づくり活動を始めたことや、若者から年配者まで幅広い年代の方が活動に参加していること等をお話しいただき、聴講した方と、長期にわたり活動が継続するためには何かが必要か共有できたのではないかと思います。



## 令和5年度富士山ごみ減量大作戦

富士山ごみ減量大作戦は、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会との共催で実施しており、令和5年度の第1回目を6月24日(土)に富士市桑崎で、第2回目を10月21日(土)に裾野市須山で開催しました。



車に注意しながら活動しました

令和2年度から令和4年度の間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみで実施していましたが、久しぶりに一般ボラン

ティアを募集しての開催となりました。

第1回目はボランティア参加者39名で富士山こどもの国付近の道路(469号)沿いを清掃し、約120kg(可燃ごみ60kg、不燃ごみ60kg)のごみを回収しました。

第2回目はボランティア参加者29名で富士サファリパーク付近の道路(469号)沿いを清掃し、約60kg(可燃ごみ30kg、不燃ごみ30kg)のごみを回収しました。

第3回目は2月頃に富士宮市で実施を予定しております。開催日が決まりましたら参加者を募集しますので、その際は御参加いただけますと幸いです。



たくさんのごみが見つかりました

## NEWS × COLUMN × REPORT



## 富士山の恵みの水 柿田川自然観察会

令和5年8月19日(土)に、公益財団法人柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然観察の会を案内役として迎え、柿田川自然観察会を実施しました。今年も多くの方々からの申し込みがあり、当日は69名に御参加いただきました。



子どもたちは元気いっぱいでした

最初は湧水広場で、柿田川みどりのトラストの漆畑会長から、柿田川の自然についてのお話があり、「シシバやイカリソウ等の貴重な植物が生育している所には近付かない」「水流が強い区域には出てはいけない」「昆虫や魚類等の生物は、捕まえて観察したら必ず放流する」と説明がありました。



観察会の様子

説明を受けた後に参加者は川に入り、魚やモクズガニなどの様々な生物をつかまえ、バケツ等に入れて観察していました。川から引き上げたタモに生物が入っていると参加者から喜びの声が聞こえ、大きなモクズガニを捕まえた人からは、ひととき大きな歓声が上がっていました。

夏の晴天の日でも、約15℃の湧水は長時間入っていると足が冷たく感じましたが、参加者の皆様には、普段入れない場所での貴重な体験を楽しんでいただくことができました。



## 令和5年度の 外来植物撲滅大作戦



参加者の除去作業状況

今年度第1回目の外来植物撲滅大作戦は、須走口五合目周辺で企画していましたが、悪天候のため、残念ながら中止となりました。

第2回目は晴天に恵まれ、11月3日(金・祝)に西臼塚駐車場で開催することができました。

富士自然観察の会の方を講師に迎え、22人が参加して外来植物の除去を行いました。紅葉が進み、植物も冬を迎える準備をする時期で、外来植物の多くは冬を越すためのロゼット状(茎が無く地表に密着する根生葉のみの状態)になっていましたが、参加者の皆様の作業の結果、17.5kgを除去することができました。

除去したものの中には、根が1m程度に

伸びたセイヨウタンポポ、根が絡まりながらソフトボール程の大きさに生長したアレチヌスビトハギ等もあり、参加者も外来植物の生命力の強さに驚いていました。

作業後は、駐車場と少し森の中に入った所の観察・比較をして、外来植物は、日射が少なくなる森の中に入るにつれ減少することを説明する等、参加者が楽しみながら学べるよう工夫をしていただきました。

今後も、外来植物対策のことを知り、行動できる組織・人を増やすために、撲滅大作戦等とおして普及啓発を行いますので、御理解御協力お願いいたします。



外来植物について学ぶことができました